

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年9月20日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年9月18日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学ロサンゼルス校(日本語名) University of California Los Angeles(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年6月～2024年9月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 6～9月 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	45,690
創立年	1919年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (アメリカドル \$)	日本円	備考
授業料	6930	1108800 円	
宿舍費	4885	781600 円	食費込み
食費		円	
図書費		円	
学用品費	65	10400 円	
携帯・インターネット費		20,940 円	月 20G のプランを購入
現地交通費	30	4500 円	Tap Card を購入し、バスで出かけることがほとんどだった(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		27,060 円	形態: 明治大学経由で東京海上日動の保険に申し込んだ
渡航旅費		274830 円	
ビザ申請費	160	24,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		2252130 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:羽田 目的地:LAX 経由地: 復路 出発地:LAX 目的地:羽田 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:日本航空 料金:274830 円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL 公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Olympic Hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
大学側から寮を選ぶようにメールが来たので、そこから選んだ
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
寮はキレイでご飯もとても美味しいので生活面での心配はさほどいらなかなと思いますが、全て物が値段が高くて質もよくないので、生活必需品などはなるべく日本から持ってくることをお勧めします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険な地域にはいかない、夜は出歩かない、絶対に地下鉄は使用しないなど徹底しました。また、ロサンゼルスに住んでいる知人にペッパーズプレーを持ち歩くように助言されていたので、持ち歩くようにしていました。治安の悪さを侮っていた人は結局痛い目にあっていたので気を付けすぎないくらい気を付けてください。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校内はWi-Fiがしっかりと接続したので問題なかったです。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードで決済できるお店がほとんどであったため、現地での資金調達は行いませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

調達できないものはありませんが、女性であれば生理用品は日本の物を使うべきだと思います。薬なども日本から持って行ったほうが安心だと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

クレジットカード

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他(事前に決めてはいたが出発後に変更した) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cultural History of Rap	
科目設置学部・研究科	Ethnomusicology
履修期間	A6 session
単位数	5 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回
担当教授	Dexter Story
授業内容	ヒップホップのカルチャー、歴史について学術的に学ぶこと
試験・課題等	ウィークリーの課題とグループプレゼン、エッセイ
感想を自由記入	思っていたよりも学術的ではなかったが、自分の好きなことを学べたのは楽しかったし、なにより教授が良い人だった。簡単な授業すぎてやりがいはあまりなかったが、楽しかった。留学生はかなり少ない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, and Queer Studies	
科目設置学部・研究科	Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, and Queer Studies
履修期間	A6 session
単位数	5 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Michael Hunter
授業内容	LGBTQ+について学ぶ授業
試験・課題等	ウェークリーの課題、ファイナルペーパーと作品制作
感想を自由記入	興味があった範囲の授業なので面白かった。事前に読んでおくべきものが多かったり、授業中にディスカッションを行ったりしたので英語についていくのが難しかった。ファイナルの課題はマニフェストをテーマに自分の理想とする社会を動画や写真など自分の好きな形式で作品を作るのに加えてその理想についてペーパーを書くというものだった。かなりの時間と労力を要したが、とってよかったとかなり感じた授業であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Learning American English and Culture from Movies	
科目設置学部・研究科	communication
履修期間	C6 session
単位数	4 units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Tor Negrete
授業内容	週に一度映画を見て、それについて教授が説明をしながらアメリカについて学ぶもの。また、生徒がプレゼンを行い英語を学習するもの
試験・課題等	ウェークリーの課題、グループプレゼン、ソロプレゼン
感想を自由記入	授業名にAmerican English を学ぶと書いてあるが、映画中の英語のイディオムなどに触れたりするわけではなく、自分でプレゼンをして人前で英語を使うことに慣れようというESLのような授業だった。他半数が中国人で、それ以外はヨーロッパの人が数人いた。英語のレベルは易しいが、意外と大学の授業内で話す機会のある授業は少ないので、自分の英語に自信をつかせるという意味では良い授業だと思う。友達も作りやすい環境。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Social Psychology	
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	C6 Session
単位数	4units
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が2回
担当教授	Jon Sigmon
授業内容	社会心理学の基本について
試験・課題等	中間テストと期末テスト
感想を自由記入	正直本当にお勧めできない。出席などでの評価は0で二回のテストのみで評価が決まる。なのに授業中に範囲が終わらないことは当たり前で授業内で学んでいないことがテストに出てくる65ドルの教科書を買わされるが使わない。教授に授業内で触れていないのにテストに出すことを訴えてもそれはよくあると言われただけです。この授業は取らないほうがスマートだと思います。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

ワンキャリア

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

3年の方は少しでもウェブテスト対策などを 留学前にする、留学中でも時間があれば勉強するなどすれば絶対後々楽になります。けれど留学中に就活に全集中してしまってもったいないので、今自分余裕あるなーというときに行くらいで良いと思います。また私は留学を経て希望職種が変わったので、自分の視野を広げる機会にもなりました。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	TOEICの勉強
	4月～7月	TOEICの勉強
	8月～9月	TOEICの受験
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ、パスポート発行、派遣先の手続き、出発
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は助成金があること、UCLA という有名大学、就活にも余裕を持ちたかったという 3 点でこの留学先を選びました。正直留学に行く前までは、何か得られるものがあるだろうかと不安になることもありましたが、結論を言うと、行ってよかったです。あまり現地の人と触れ合うことは少ないかもしれませんが、他の国から来た人たちと自国について話すことによって新しい学びを多く得ることができました。また、いつもの日常以上に自分からアクションを起こさないと変わらない環境でもあるので、自分から行動する力というのもつくと思います。

この留学は語学を発達させる留学というよりも、自分の興味のある分野の学問を英語で国際的な環境で学びたいという人のほうが向いていると思うので、英語力はある程度事前につけていったほうが楽しめる留学だと思います。

UCLA は本当に素敵な学校なので行って後悔することはないと思います。

悩んでいる方は是非行ってほしいなと思います。